

エンヴォイ・コネクト

Envoy Connect

取扱説明書



株式会社システムギアビジョン

目次

1. 各部の名称と用語の説明	2
1.1 製品概要	2
1.2 付属品	3
1.3 用語説明	3
1.4 ボタン説明	5
1.5 各種差込口	8
2. 基本的な操作方法	9
2.1 電源のオン/オフ	9
2.2 コンテンツの選択と再生	10
2.3 再生中の操作方法	11
2.4 一時停止とブックマーク	12
2.5 ブックマークのリセット	13
2.6 スリープタイマー	13
2.7 バッテリー残量確認	15
2.8 充電について	16
2.9 バッテリーの扱いについて	17
3. 詳細な機能について	18
3.1 マイクロSDカード	18
3.2 パソコンとの接続	20
3.3 コンテンツの保存・再生順について	21
3.4 対応ファイル形式	23
3.5 コンテンツの削除	23
3.6 シリアルナンバー確認	24
3.7 設定の初期化	24
4. 故障かな？と思ったら	25

1. 各部の名称と用語の説明

1.1 製品概要

エンヴォイコネクト Lモデル(以下、本機)は、簡単な操作で本機の内蔵メモリ、もしくはマイクロSDカードに保存した、デジータデータや音楽データなどのオーディオコンテンツを再生できる、小型のプレイヤーです。本機の構成は次のようになっています。

前面にスピーカーがあります。スピーカーの下に2列のボタンがあります。上段のボタンは左が音量ボタン、中央が本棚ボタン、右がタイマーボタンです。下段のボタンは左が巻き戻しボタン、右が早送りボタンです。中央の大きな丸いボタンは電源・再生ボタンです。

また、本機の下部には、3つの差込口があります。左側がヘッドホン差込口、中央がマイクロUSB差込口、右側がマイクロSDカード差込口です。本機背面にソーラーパネルと、印字ラベルがあります。本機中央上部にストラップを取り付けることができる、ストラップホールがついております。

1.2 付属品

- ①ストラップ ②USB ケーブル
- ③取扱説明書、保証書、ユーザー登録用紙

1.3 用語説明

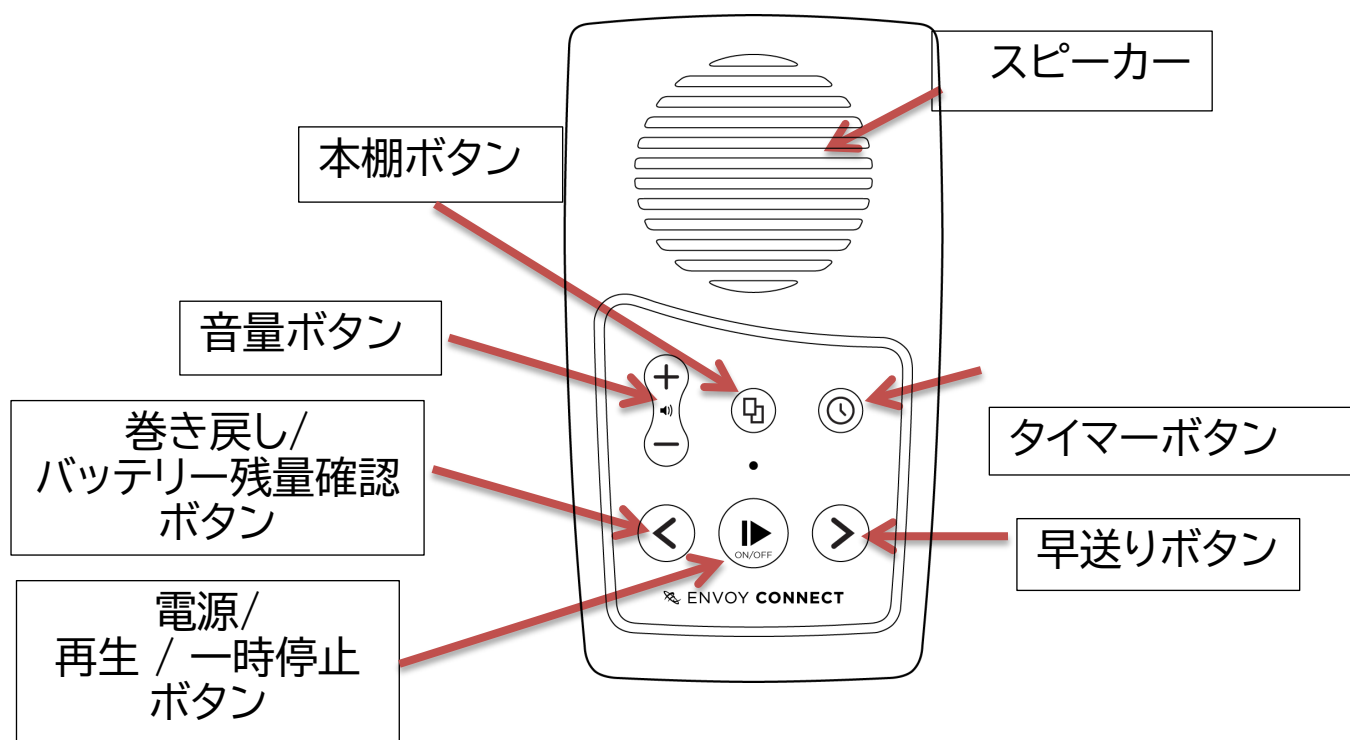
本マニュアルでは、用語を次の通り定義しております。

コンテンツ・・・コンテンツとは、デジータデータでの書籍や、音楽アルバムなどを指しています。パソコン上では、複数の音声ファイルデジータ包したフォルダとして認識されます。

ファイル・・・ファイルとは、デジータデータの書籍内の最小レベルで区分される、文章の塊や、音楽アルバムの各トラックなどのことを指します。パソコン上では、フォルダに内包された音声ファイルとして認識されます。

レベル・・・レベル、とは、デジータの書籍に設けられた階層、区分です。レベルは数字が大きいくほど、短い単位で区切るようになります。例えば、書籍が「章・節・項」で構成されていると、「章」をレベル 1、「節」をレベル 2、「項」をレベル 3 として指定されます。一般的に、レベルは 1、から 6、まであり、どのレベルまで適用されているかは、デジータ書籍によって異なります。

1.4 ボタン説明



電源・再生ボタン(下段中央):

- 電源のオン/オフに使用します。(「2.1 電源のオン/オフ」参照)
- 再生/一時停止に使用します。(「2.4 一時停止とブックマーク」参照)

本棚ボタン(上段中央):

- 主にコンテンツの選択に使います。(「2.2 コンテンツの選択と再生」参照)

音量ボタン(上段左):

- 音量ボタンの上ボタンを押すと音量が上がり、下ボタンを押すと音量が下がります。長押しすると早く音量を上げ下げできます。最大音量に達すると、電子音が2回なります。また完全に音量を消すことは出来ません。

巻き戻しボタン(下段左): (「2.3 再生中の操作方法」参照)


- 再生中にボタンを押すと最小レベル単位で一つ前の項目に戻ります。
- 巻き戻し:再生中に長押しすると、押している間、10秒単位で巻き戻ります。10秒巻き戻るごとに電子音が鳴ります。

-

早送りボタン(下段右): (「2.3 再生中の操作方法」参照)

- 再生中にボタンを押すと最小レベル単位で一つ次の項目に進みます。
- 早送り:再生中に長押しすると、押している間、10秒単位で早送りします。10秒早送りするごとに電子音が鳴ります。

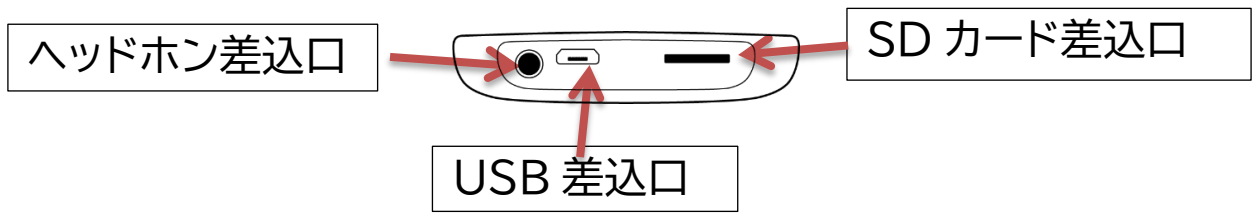
注意:一時停止中は、巻き戻しおよび早送りはできません。

タイマーボタン(上段右):  (「2.6 スリープタイマー」参照)

- スリープタイマーの設定に使用します。

※再生中はタイマーの設定操作はできません。

1.5 各種差込口



- **ヘッドホン差込口(下部左側):**
ヘッドホンもしくは外部スピーカーの 3.5 mm プラグを差込口に挿入します。ヘッドホンやスピーカーを差し込むと内蔵スピーカーからは音が出ません。
- **マイクロ USB 差込口(下部中央):**
パソコンとの接続や有線での充電の際に使用します。
- **マイクロ SD カード差込口(下部右側):**
マイクロSDカードの差込口です。

2.基本的な操作方法

2.1 電源のオン/オフ

電源オン:2秒間「電源・再生ボタン▶」を長押しすると、電子音が鳴り電源がオンになります。電源がオンになると直前に再生していたコンテンツ名(もしくは、冒頭10秒)を再生します。

電源オフ:電源を切るには、まず再生中のコンテンツを一時停止します。そして「電源・再生ボタン▶」を5秒間長押しすると、電子音と共に電源がオフになります。

2.2 コンテンツの選択と再生

一時停止中に「本棚ボタン[Ⓜ]」を押すとコンテンツのタイトル(もしくは、冒頭10秒)を聞くことができます。他のコンテンツを選択するには、もう一度ボタンを押します。最後のコンテンツが選択された状態で、再度「本棚ボタン[Ⓜ]」を押すと最初のコンテンツまで選択が戻ります。「電源・再生ボタン[▶]」を押すと選択したコンテンツが再生されます。

本棚にはあらかじめ本機の音声マニュアルが入っています。

※「本棚ボタン[Ⓜ]」は一時停止中のみ機能します。

2.3 再生中の操作方法

コンテンツは一つまたは、複数のレベルに分かれています。再生中に「早送りボタン▶」や「巻き戻しボタン◀」を押すことで、前後のレベルにジャンプすることができます。最後のレベルを再生中に早送りをすると、コンテンツの終わりであることを告げる電子音が鳴ります。最初のレベルを再生中に巻き戻しをすると初めから再生します。

ボタンを2秒間長押しすると、約10秒スキップします。そのまま押し続けると押している間、10秒ずつスキップし続けます。その際、10秒スキップする毎にLEDが点滅し、電子音が鳴ります。

※レベルの移動はコンテンツに設定されている中で最小単位のレベル移動となります。例えば、レベル3まで設定されているダイジェーデータなら、移動単位はレベル3になります。

2.4 一時停止とブックマーク

再生中に「電源・再生ボタン▶」を押すと一時停止します。一時停止中はLEDが点滅します。再生するにはもう一度「電源・再生ボタン▶」を押します。

「一時停止したとき」と「電源がオフになるとき」に、停止位置の約3秒前にブックマークが自動的に記録されます。

ブックマークはコンテンツごとに記録されます。

※一時停止し、操作の無い状態が2分間続くと自動的に電源がオフになります。

2.5 ブックマークのリセット

コンテンツを最後まで再生すると、そのコンテンツのブックマークの位置は自動的にリセットされます。

手動でリセットしたい場合はコンテンツの先頭まで「巻き戻しボタン◀」を連続して押してください。


2.6 スリープタイマー

「タイマーボタン⌚」を押すとスリープタイマーを設定することができます。「タイマーボタン⌚」を押すごとに電子音が鳴ります

それぞれの電子音の意味合いは次の通りです。

- 電子音1回 - 15分後に電源オフ。
- 電子音2回 - 30分後に電源オフ。
- 電子音3回 - 60分後に電源オフ。
- 電子音4回 - スリープタイマーの設定を解除。

タイマーの設定後は再生中 LED が点滅します。タイマーで設定した時間が経過すると、自動的にブックマークを記録し、無音で電源がオフになります。

タイマー設定後に「タイマーボタン」を2秒間押し続けるとスリープタイマーの設定を解除します。

※タイマーの設定は一時停止中のみ行うことができます。

※タイマーの時間経過よりも先に電源がオフになった場合、次回起動時にはタイマーの設定はリセットされ「スリープタイマーの設定を解除」の状態に戻ります。

※ボタンを連続して押すと反応しないことがあります。一度押した後は、約2秒、間隔を開けて再度押してください。

2.7 バッテリー残量確認

バッテリー残量は一時停止中に「巻き戻しボタン ◀」を長押しすることで確認ができます。バッテリー残量を連続で鳴る電子音の回数で表現します。

1回 - 30~50%

2回 - 51~75%

3回 - 76~100%

バッテリー残量が30%を下回ると、バッテリー残量が少ないことを意味する電子音が1分ごとに鳴ります。バッテリーがなくなると、その時点での再生位置にブックマークを記録し、電源がオフになります。

2.8 充電について

本機の充電には「有線接続」と「ソーラー充電」の2つの方法があります。

有線充電

付属の USB ケーブルを一般的な USB 充電器 (5V/1Ah) もしくはパソコンに接続することで充電を開始します。

充電中は LED が点滅し、充電が完了すると LED が点灯の状態に変わります。

充電時間は USB 充電器で約 2 時間、パソコン接続で約 3 時間程度です。

※USB 充電器は付属いたしません。別途ご用意ください。

ソーラー充電

背面のソーラーパネルに太陽光を当てることで充電ができます。

充電中でも LED は点滅しません。

充電時間は最低8時間～10時間程度です。

※充電時間は充電時点での残量に応じて変動します。

2.9 バッテリーの扱いについて

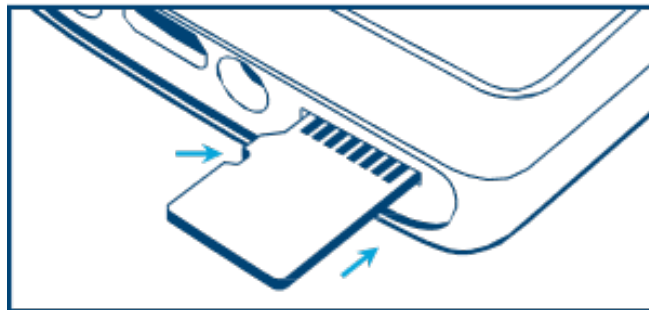
- ・バッテリーは完全に消費しきってしまうと、バッテリー自体の寿命を縮めてしまったり、充電時間が長くなったりする要因になります。
- ・充電方法が、ソーラー充電しかない場合、バッテリーが完全に消費しきってしまわないように、頻繁に太陽光を当てて充電するようにしてください。
- ・保管は涼しい場所で、充電残量がある状態で行ってください。 また、長期間使用しない場合、6カ月に一度は充電するようにしてください。

3. 詳細な機能について

3.1 マイクロ SD カード

本機の下部右側にある差込口にマイクロ SD カード(最大 128GB)を差し込み、8GB の内部メモリに容量を追加できます。

マイクロ SD カードは正しく差し込んでください。カードの裏面が上を向いて表面の隆起が下を向いていることを確認してください。マイクロ SD カードの長辺が右側にあり、凹凸が左側になります。



差し込む際は過度な力を加えないでください。マイクロ SD カードを認識すると電子音が鳴ります。

マイクロ SD カード内のデータは「本棚ボタン[Ⓜ]」を押すことで、内蔵メモリのデータから続けて選択されます。「タイマーボタン[Ⓢ]」と「早送りボタン[▶]」を同時に2秒間押し続けると、マイクロ SD カード内のデータにジャンプします。

マイクロ SD カードを取り出す際は、カードを本体内部に押し込むことでロックが解除されます。カードのロックが解除されると電子音が鳴ります。

※マイクロ SD カードが飛び出して紛失する恐れがあります。ご注意ください。

3.2 パソコンとの接続

付属の USB ケーブルを本機下部中央の差込口に挿入し、パソコンと接続することができます。パソコンに接続すると、パソコン内のコンテンツを、本機に保存したり、本機を充電したりできます。パソコンと接続する際は、本機の電源がオフの状態である必要があります。

マイクロ USB 端子に付いている小さな 2 つの突起を下に向けて正しく差し込んでください。差し込む際は過度な力を加えないでください。正しい向きに差し込むと簡単に挿入できます。

本機とパソコンが接続されると、本機から電子音が鳴り、LED が点灯します。

本機はパソコンの外部ドライブとして表示されます。本機にマイクロ SD カードが挿入されている場合は、2 番目の外部ドライブとして表示されます。

パソコンと接続中に「電源・再生ボタン▶」を押すとパソコンとの接続を解除し、本機の電源が入ります。再度接続するにはケーブルを抜き、電源をオフにしてから再度接続してください。

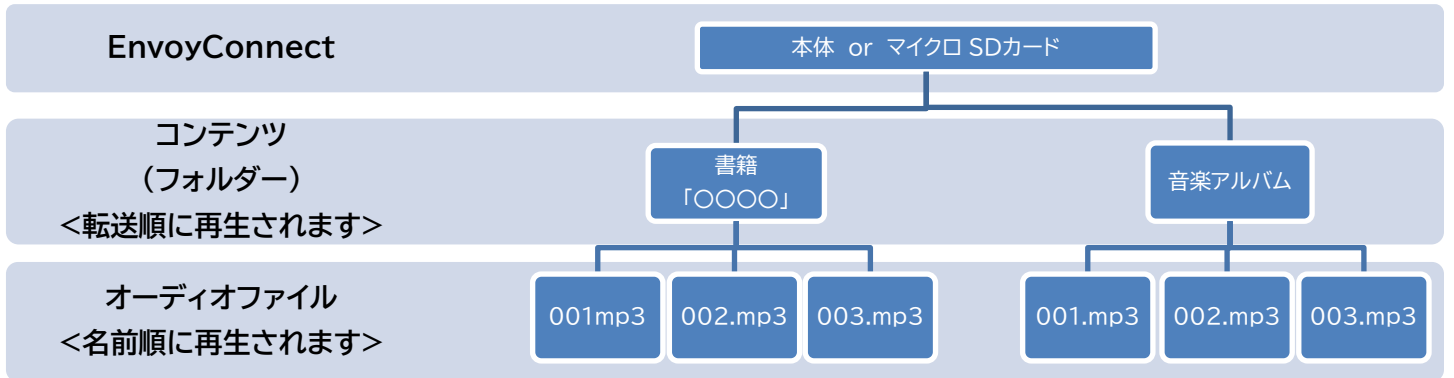
3.3 コンテンツの保存・再生順について

USB ケーブルまたはマイクロ SD カードを使用してオーディオコンテンツをパソコンから本機に転送することができます。

パソコン上でコンテンツを作成する際は、コンテンツに関するすべてのファイルを 1 つのフォルダーに保存してください。コンテンツ毎にそれぞれのフォルダーが必要です。各フォルダーには、最大 999 個のフォルダーと最大 999 個のオーディオファイルを保存することができます。

コンテンツ(フォルダー)は本機に転送された順に再生されます。コンテンツがフォルダー名順に並べ替えて再生されることはありません。ただし、各コンテンツ(フォルダー)内のオーディオファイルは名前順に再生されます。そのため、あらかじめパソコン側でフォルダー内の最初のファイル名を 001.mp3、2 番目のファイル名を 002.mp3 というように名前を付けてください。その後、名前順で並べ替えをして、各フォルダに保存してください。最後に、作成したコンテンツのフォルダーを本棚に載せたい順で本機に転送してください。

本機ファイル構成イメージ



本機には以下の制限があります。

- フォルダー名の最大文字数 = 58 文字
- ファイル名の最大文字数 = 185 文字

3.4 対応ファイル形式

本機が対応しているファイル形式は以下の通りです。wav、mp3、wma、ogg、flac、ape、aac-lc

3.5 コンテンツの削除

一時停止中に「本棚ボタン[Ⓚ]」と「音量アップボタン[⊕]」を同時に5秒間押し続けると、現在選択中のコンテンツを削除します。押し続けている間、削除することを確認する電子音が5回流れます。その後、連続した電子音が流れて削除完了です。

削除した後は次のコンテンツのコンテンツ名(もしくは、冒頭10秒)を再生します。

※コンテンツ削除は一時停止中にのみ行うことができます。

3.6 シリアルナンバー確認

一時停止中に「巻き戻しボタン◀」と「早送りボタン▶」を同時に押すと英語の男性音声で<シリアルナンバー>と<バージョン情報>を読み上げます。

※シリアルナンバーは本体背面のラベルにも印字してあります。

※「電源・再生ボタン▶」で読み上げを中断することができます。

3.7 設定の初期化

一時停止中に「巻き戻しボタン◀」と「音量アップボタン⊕」を同時に押すと女性音声のアナウンス後に電源がオフになります。

この際<すべてのブックマークの削除>と<音量のリセット(中間)>が行われます。

4. 故障かな？と思ったら

- 本機の電源が入らない

本機を十分に充電してください。万が一充電しても解決しない場合は、購入先にご連絡ください。

- コンテンツを再生できない

空のフォルダーがないことを確認してください。コンテンツを構成するすべてのオーディオファイルが1つのフォルダーに保存されていることを確認してください。コンテンツ毎にそれぞれのフォルダーが必要です。適したオーディオファイル形式を使用していること、また、コピー防止(DRM)の制限が付いていないことを確認してください。ファル形式は、wav、mp3、wma、ogg、flac、ape、aac-lc に対応しています。

再生位置が記憶されない

コンテンツのフォルダー名が 58 文字以内であり、ファイル名が 185 文字以内であることを確認してください。

- コンテンツが順不同で再生される

コンテンツの各フォルダー内のオーディオファイル名が再生順に並んでいることを確認してください。詳細は 3 章 3 節をご参照ください。

- マイクロ SD カードが挿入できない

カードの裏面が上を向いて表面の隆起が下を向いていることを確認してください。カードの長辺が右側にあり、凹凸のついた辺が左側になります。挿入する際は過度な力を加えないでください。正しい向きに差し込むと簡単に挿入できます。

- マイクロ USB 端子が挿入できない

付属の USB ケーブルの、マイクロ USB タイプ B 端子を使用してください。挿入する際は過度な力を加えないでください。正しい向きに差し込むと簡単に挿入できます。

- 警告音が鳴り、再生できない

問題が発生した際に警告音が鳴ります。他のコンテンツの再生を試してください。また、オーディオファイルの形式を確認してください。

本機がフリーズして操作が利かない

コンテンツのフォルダ名が 58 文字以内であり、ファイル名が 185 文字以内であることを確認してください。

- 本機の再起動方法

本機がボタンに反応しない場合は、電源・再生ボタンを 10 秒間長押しし、再起動してください。

- ハードウェアのリセット:

本機を再起動しても、解決しない場合は、本機背面の小さな穴(本機背面の左下側。ラベルの左側)をクリップ等の先端で優しく押し、ハードウェアリセットボタンを押します。

問題が解決しないときは:

- 当社はお客様にエンヴォイコネクトを十分に満足してご利用頂けることを願っております。ご意見・ご質問等がございましたら、ご購入いただいた販売店もしくは、巻末に記載のお客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室:

株式会社システムギアビジョン

フリーダイヤル:0120-886610

平日 9:00~12:00、
13:00~17:30

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司1-6-11

Email: sgv-info@systemgear.com

URL: <https://www.sgv.co.jp>

memo